

旧市立図書館跡地の利活用に向けた取組について

明石公園内の旧市立図書館跡地については、旧施設の撤去と新施設の整備を一体で行うことで国の補助金等を活用することにより財政負担の抑制を図り、市民や公園利用者に親しまれ、明石公園の魅力をさらに高められるような利活用方法について検討を進めているところです。

先日、実施した利活用計画（素案）に対する市民参画手続の結果及び利活用計画（案）の内容等について報告します。

1. 素案に対する市民参画手続の結果

利活用計画（素案）について、本年6月の総務常任委員会で報告を行った後、以下のとおりワークショップ及びパブリックコメントを実施しました。

(1) ワークショップ

- ア 日時 2024年8月9日(金) 18時30分～
- イ 場所 ウィズあかし学習室701
- ウ 参加者 13名（申込者19名）
- エ 内容 「新施設の機能、配置、規模及びコンセプトについて」
 - ①コンセプトや機能で追加したい、修正したいポイントについて
 - ②コンセプトを踏まえた施設配置イメージについて

(2) 意見公募手続（パブリックコメント）

- ア 募集内容 明石公園旧市立図書館跡地利活用計画（素案）に対する意見
- イ 募集期間 2024年7月15日(月)～8月16日(金)
- ウ 意見者数 18人（34件）

(3) 素案に対する主な意見（ワークショップ及びパブリックコメント）

- ・雨の日でも過ごせる全天候型の屋外機能を整備してほしい
- ・コンセプトや主な機能について賛同する
- ・建物部分にフリースペース、展示スペース、学習室、会議室、温水プールを整備してほしい
- ・屋外空間に休憩施設、ベンチ、ドッグラン、大型遊具、アーバンスポーツ施設を整備してほしい
- ・公園の自然や県立図書館と調和した施設にしてほしい

2. 利活用計画（案）について

実施したワークショップ及びパブリックコメントにおいて、利活用計画（素案）は、市民、公園利用者のニーズを一定反映していることが確認できました。また、新施設の機能、配置、規模及びコンセプトについて、いただいた意見をもとに修正、追加し、利活用計画（案）（別紙）を作成しました。

(1) コンセプト及び主な機能

○コンセプト	「いつでもみんなをやさしく包む居場所」
○主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中で心地よく過ごせる居場所としての機能 ・みんなが自由に集まり交流できる機能 ・明石公園でのさまざまな活動を支援する多目的な機能

(2) 導入施設

ワークショップ等の市民参画手続を踏まえ設定したコンセプトや主な機能（居場所・交流・多目的など）に合致し、明石駅周辺に不足しており市民・公園利用者からのニーズの高い音楽活動も可能な多目的ホールや、これまで明石公園内にありよく利用されていた生涯学習センター分室の会議室等の代替となる機能を備えた施設の導入を検討します。

【導入施設(例)】

【施設配置イメージ】

建物部分	
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的ホール、学習室、会議室 ・フリースペース、ギャラリー ラウンジ、コワーキングスペース 等 	
屋外空間	
基本施設	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生、ベンチ、休憩施設、防災施設 日除け・雨避け屋根 等
付加施設	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜を利用し、そり遊びができる場所 ・バスケットゴール、ドッグラン 等
※ 設計段階で具体的に検討します。	



(3) 概算事業費

項目	事業費	
	建物 500 m ² の場合	建物 800 m ² の場合
解体工事費	8.00 億円	8.00 億円
設計費	1.00 億円	1.00 億円
建物建設費	3.50 億円	5.60 億円
屋外空間整備費	2.00 億円	2.00 億円
事業費計	14.50 億円	16.60 億円

(財源)

国庫補助（都市構造再編集中支援事業）〈補助率50%〉及び交付税措置のある地方債の活用により、市の実質負担額を8億円以内に抑えるよう取組を進めます。

3. 今後の取組予定について

今年度につきましては、設計・施工者選定に向けた準備を行い、来年度当初より円滑に事業着手ができるよう進めてまいります。

令和6年度 下半期	利活用計画策定、公表 設計・施工者選定に向けた準備
令和7年度	設計・施工者選定→発注 設計及び工事着手
令和8年度 ～9年度	工事完了・新施設供用開始